

主要通貨の日々の推移をわかりやすく解説し、今後の見通しをお届けします。

8月27日(金曜日)
ユーロ/円
ユーロ/ドル
豪ドル/円

バーナンキ議長講演
「経済見通しと政策対応」

26日(木)の主な推移



期間 : 26日(木)午前6時～27日(金)午前6時
※チャートは30分足 日本時間にて表示
出所 : 外為どっとコム

①

26日付けの朝日新聞が、政府が検討している追加経済対策の原案の概要として「日銀に対して円高に対応するための追加金融緩和策を促す」などと報じたことを受けて早朝の取引から円売り優勢の展開となった。その後、昼過ぎに、民主党の玄葉政調会長が「16時半に経済関係閣僚会議で民主党の方針を報告する」と発表すると、円高対策への期待から、クロス円は一段高となった。ユーロ/円の上昇に連れてユーロ/ドルも上昇し、1.27ドル台を回復した。

②

欧州株の高寄りを受けて、ユーロ/円は107.99円、豪ドル/円は75.36円まで上昇していたが、経済閣僚会議後の玄葉政調会長の会見では、具体的な円高対応策は発表されず、クロス円は失望売りを浴びる形で急落した。

③

米新規失業保険申請件数が47.3万件と事前予想の49.0万件を下回ると、米労働市場への懸念が和らいだとして時間外のNYダウ先物が急上昇しその後の現物株も堅調に寄り付いた。これを受けて、ユーロや豪ドルを買って、ドルや円を売る動きが強まると、ユーロ/円は107.90円まで、ユーロ/ドルは1.2763ドル、豪ドル/円は75.38円まで上昇した。しかしその後、米国景気の先行き不透明感からNYダウ平均が徐々に値を下げ、1万ドルの大口を割り込むと、クロス円は急落、豪ドル/円は74.66円の安値を付けた。

巻末の特記事項を必ずお読みください。

ユーロ/ドル、ユーロ/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから、円売り、高金利通貨買いの流れ(ユーロ/円上昇要因)
- ・米低金利政策長期化観測に伴う米長期金利の低下(ユーロ/ドル上昇要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスクの緩和(ユーロ上昇要因)
- ・米景気回復に伴う米長期金利の上昇(ユーロ/ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(ユーロ/円下落要因)
- ・南欧諸国のソブリン・リスク(ユーロ下落要因)

豪ドル/円の要因

- ・リスクを取ることに積極的になる動きから高金利通貨買いの流れ(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪利上げ観測に伴う日豪金利差の拡大(豪ドル/円上昇要因)
- ・株価、資源価格の上昇(豪ドル/円上昇要因)
- ・日銀による追加金融緩和観測(豪ドル/円上昇要因)
- ・豪州中銀による利上げ観測の後退(豪ドル下落要因)
- ・株価、資源価格の下落(豪ドル下落要因)
- ・リスクを取ることに消極的になる動きから、円買い戻しの流れ(豪ドル下落要因)

本日の見通し

本日の予想レンジ

ユーロ/ドル: 1.2620-1.2820ドル
ユーロ/円: 106.20-108.20円

本日の予想レンジ

豪ドル/円: 73.60-75.50円

週末の取引ではあるが、米連邦準備制度理事会(FRB)のバーナンキ議長の講演や米第2四半期国内総生産(GDP)と見どころは多い。バーナンキ議長は日銀白川総裁や欧州中銀(ECB)トリシェ総裁らも集まるシンポジウムで「経済見通しと政策対応」と題して講演を行う予定で、米国景気の減速懸念が強まる中、バーナンキ議長が米経済の先行きについて弱気な見方を示すようだとドル売りが強まる事も考えられる。また米第2四半期GDPは大幅下方修正が予想されており、こちらもドル売り材料となる可能性がある。(神田)

本日は米第2四半期国内総生産(GDP)・改定値が発表される。改定値とはいえ下方修正は必至の情勢であり、米国景気に減速懸念が強まる中、注目度は高い。5月以降の米経済指標の悪化ぶりから、どこまで下方修正されるのかが焦点となるが、1%を割り込むような低成長になるようだと、ネガティブ・サプライズとなる。米国景気の先行き不透明感を背景に1万ドルの大台を割り込んだNYダウ平均が一段安となる可能性があり、豪ドル/円は上値が重い展開となりそうだ。(神田)

本日の注目イベント

※注目度が高い順に「◎」「○」「無印」で表示 日本時間での表示

日付	時間	注目度	経済指標、イベント等	前回発表	市場予想
8/27(金)	17:30		(英) 第2四半期GDP・改定値 [前期比]	+1.1%	+1.1%
	21:30	◎	(米) 第2四半期GDP・改定値 [前期比年率]	+2.4%	+1.4%
	21:30		(米) 第2四半期個人消費・改定値 [前期比]	+1.6%	+1.6%
	22:55		(米) 8月ミシガン大消費者信頼感指数・確報値	69.6	69.6
	23:00	◎	(米)バーナンキFRB議長講演	—	—
	未定		(独) 8月消費者物価指数・速報値	+1.2%	+1.1%

※発表時刻は予告なく変更される場合があります。また、※予定一覧は信頼性の高いと思われる情報を元にまとめておりますが、内容の正確性を保証するものではありませんので事前にご留意くださいますようお願いいたします。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。